

令和8年度

授業シラバス・
年間指導計画

国語
(1年)

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科1年 シラバス

教科名	科目名(校内名称)	単位数	教材
国語	現代の国語	2	教科書：高等学校 新訂 現代の国語(第一学習社) 副教材：「カラー版新国語便覧」(第一学習社) 「重要頻出漢字リアルマスター3300」(尚文出版)

学習のねらい	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。
--------	---

授業形態 アドバイス など	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス単位で授業を進めます。グループ活動や個人での発表を含みます。 ・予習として、教材となる文章を読み、意味のわからない語句について自主的に調べるようにしていきます。授業や復習を通じて自分の考えを広げたり深めたりすることを心掛けましょう。 ・本や新聞などを読んで情報収集することを普段から意識するように心掛けましょう。
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	実社会に必要な国語の知識や技術を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持とうとしている。
育てたい生徒像(資質・能力)との関連	教養力	読解力 思考力 表現力	自律力 省察力 協働力
主な評価方法	定期考査 確認テスト	定期考査 レポート・活動報告書・観察	課題の取り組み状況 小テスト 振り返りシート

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・「何も知らないく私」を知る こと ・「本当の自分」幻想 ・「私作り」とプライバシー <p style="text-align: center;">書き方の基礎レッスン 論理分析【事実と意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水の東西 <p style="text-align: center;">話し方の基礎レッスン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読み書きに慣れ、文や文章の中で使用できる。 ・主張と論拠など情報と情報の関係について理解できている。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解できている。 ・書き言葉と話し言葉の特徴が理解できている。 ・表記・表現の基本ルールが理解できている。 ・文章の効果的な組み立てや接続の仕方について理解できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」「聞くこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に確に捉え、要旨や要点を把握できている。 ・「読むこと」「聞くこと」において、文章に含まれている情報を相互に関連づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 ・「書くこと」「話すこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って、要点をまとめ、説明しようとしている。 ・まとめたものを文章にしたり、発表したりしようとしている。 ・積極的に伝わりやすい表現を工夫しようとしている。 ・協働して学習課題に取り組み、理解を深めようとしている。 ・振り返りをして、次の学習課題を見つけようとしている。 ・学習課題を発展させた読書や研究などをしようとしている。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・「文化」としての科学 <p style="text-align: center;">論理分析【対比】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものとことば ・日本語は世界をこのように捉える <p style="text-align: center;">論理分析【具体と抽象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェアな競争 <p style="text-align: center;">論理分析【推論】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読み書きに慣れ、文や文章の中で使用できる。 ・主張と論拠など情報と情報の関係について理解できている。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解できている。 ・推論の仕方について理解できている。 ・文章の効果的な組み立てや接続の仕方について理解できている。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」「聞くこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に確に捉え、要旨や要点を把握できている。 ・「読むこと」「聞くこと」において、文章に含まれている情報を相互に関連づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 ・「書くこと」「話すこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を工夫している。 ・現代的な問題について、自分の意見を広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って、論理の展開粘り強く分析し、今までの学習を活かして筆者の主張をまとめようとしている。 ・まとめたものを文章にしたり、発表したりしようとしている。 ・積極的に伝わりやすい表現を工夫しようとしている。 ・協働して学習課題に取り組み、理解を深めようとしている。 ・振り返りをして、次の学習課題を見つけようとしている。 ・現代的な問題について、自分の意見をまとめ、論述しようとしている。 ・学習課題を発展させた読書や研究などをしようとしている。
備考				

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科1年 シラバス

教科名	科目名(校内名称)	単位数	教材
国語	言語文化	4	教科書：改訂版言語文化(数研出版) 副教材：「カラー版新国語便覧」(第一学習社) ：「体系古典文法」(数研出版) ：「新明説漢文」(尚文出版)
学習のねらい	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		

授業形態 アドバイス など	<ul style="list-style-type: none"> ・言語文化Aと言語文化Bという科目に分けて学習していきます。 ・クラス単位で授業を進めます。グループ活動や個人での発表を含みます。 ・予習→授業→復習の積み重ねを続けよう。重要語句を調べて現代語訳を考える予習が大切です。 ・しっかり音読しよう。国語は言葉の学習をする教科です。言葉を習得するには音読が最も効果的です。
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	実社会に必要な国語の知識や技術を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持とうとしている。
育てたい生徒像 (資質・能力) との関連	教養力	理解力 思考力 表現力	自律力 省察力 協働力
主な評価方法	定期考査 確認テスト	定期考査 レポート・観察	課題の取り組み状況・観察 小テスト 振り返りシート

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	宇治拾遺物語 「児のそら寝」 「絵仏師良秀」 伊勢物語 「芥川」 「東下り」 「筒井筒」 徒然草 「つれづれなるままに」 「ある人、弓射ることを習ふに」 「丹波に出雲といふ所あり」	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 ・歴史的仮名遣いを理解し、全文を正しく音読できる。 ・古語と現代語の違いを理解している。 ・重要語にあげられた古語を理解している。 ・体言と用言、活用について	・教材の内容の面白さや登場人物の心情を的確に理解できる。 ・作者の意図について考えることができる。 ・和歌の表現技法に注意して内容を読み、登場人物の心情を考えることができる。 ・文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開などについて、叙述を基に的確に捉える事ができる。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考	・人々が説話を伝えようとした理由を粘り強く分析し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。 ・地の文と和歌の関係性を読み解き、今までの学習を生かして本文全体を粘り強く解釈しようとしている。 ・元来中国語である漢文を、我が国の言語文化として学ぶということに興味を持つとともに、我が国の言語文化の担い手としての

	<p>言語文化と漢文</p> <p>「入門」 「漁夫之利」 「矛盾」 「狐借虎威」 「朝三暮四」 「管鮑之交」 「先從隗始」 「鷄口牛後」</p> <p>近代小説</p> <p>「羅生門」</p>	<p>て理解している。</p> <p>・助動詞の意味、接続、活用形などについて理解している。</p> <p>・返り点の種類や用法を理解している。</p> <p>・再読文字・助字・返読文字の種類や用法を理解した上で、正しく現代語訳できる。</p> <p>・中国の歴史・文化について理解している。</p> <p>・登場人物の心情を文脈に従って丁寧に読むことができる。</p>	<p>え方を捉え、内容を解釈することができる。</p> <p>・各故事の展開の面白さを的確に理解できる。</p> <p>・遊説家たちがどのような主張をするために故事を持ち出したのかが理解できる。</p> <p>・登場人物が自らの主張を受け入れさせるためにどのような論理を展開しているのかを読み取ることができる。</p> <p>・登場人物の心情を叙述を根拠として考えることができる。</p>	<p>自覚を持ち、言葉の世界により深く関わろうとしている。</p> <p>・外国語である漢文を日本語として読む訓読法の素晴らしさに気づき、身に付けることでより多くの文章が読めることに期待を持っている。</p> <p>・登場人物が自らの主張を受け入れさせるための工夫に気づき、自らの言語活動に取り入れようとしている。</p> <p>・登場人物の心情に興味を持ち、展開を考えようとしている。</p>
<p>後期</p>	<p>土佐日記</p> <p>「門出」 「帰京」 枕草子 「雪のいと高う降りたるを」</p> <p>和歌</p> <p>「万葉集」 「古今和歌集」 「新古今和歌集」</p> <p>平家物語</p> <p>「祇園精舎」 「木曾の最期」</p> <p>漢詩</p> <p>「論語」 「孟子」 「雑説」 「罷説」</p> <p>現代小説</p> <p>「初恋の」</p> <p>詩歌</p>	<p>・品詞の違いや特徴を理解し、適切に現代語訳することができる。</p> <p>・敬語の種類や意味、敬意の方向の基本について理解することができる。</p> <p>・日本の和歌集の特色を理解することができる。また、それぞれの代表的歌人について理解している。</p> <p>・和歌の表現技法について理解している。</p> <p>・漢詩の種類や近体詩の規則について理解している。</p> <p>・漢詩の技巧、味わい方を理解している。</p> <p>・李白・杜甫などの代表的詩人について理解している。</p> <p>・諸子百家が生み出された時代背景を理解している。</p> <p>・「仁」「忠」「礼」「義」「孝」など、儒家の思想の基本概言が理解できる。</p> <p>・登場人物の心情を文脈に従って丁寧に読むことができる。</p> <p>・短歌・俳句の技法を理解している。</p>	<p>・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。</p> <p>作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。</p> <p>・作品の時代背景等を踏まえ、和歌に込められた作者の心情を表現することができる。</p> <p>・各作品の作者や詩作の背景について知ることで、主題への理解をより深めている。</p> <p>・儒家の思想が生み出された時代背景を踏まえた上で、孔子や孟子の主張が理解できている。</p> <p>・抽象的な儒家の思想を自分の言葉で表現できる。</p> <p>・登場人物の心情を叙述を根拠として考えることができる。</p> <p>・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、語句などの表現の仕方を工夫することができる。</p>	<p>・旧暦や古時刻、旧国名といった古典常識について積極的に調べ、作品理解を深めようとしている。</p> <p>・作者の意図について粘り強く考察しようとしている。</p> <p>・和歌を粘り強く読み解き、主題について考察しようとしている。</p> <p>・漢詩と我が国の言語文化との関わりについて興味を持ち、自らのものの見方を豊かにしようとしている。</p> <p>・儒家の思想を、現代社会や自分の生活と結びつけて考察しようとしている。</p> <p>・儒家の思想と我が国の言語文化との関わりについて興味を持ち、自らのものの見方を豊かにしようとしている。</p> <p>・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、構成や表現を工夫し、和歌や俳句を創作しようとしている。</p>
<p>備考</p>				